



TITLE:

表面(サブゼミ,サブゼミの報告
,1985年度物性若手夏の学校報告)

AUTHOR(S):

永野, 真一郎; 相澤, 俊; 常行, 真司

CITATION:

永野, 真一郎 ...[et al]. 表面(サブゼミ,サブゼミの報告,1985年度物性若手夏の学校報告). 物性研究 1986, 46(3): 341-341

ISSUE DATE:

1986-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/92069>

RIGHT:

いかれる事を深く望んでやみません。

(世話人 弘兼正規)

サブゼミ 「表面」

本年度世話人：永 野 真一郎 (東大・理・井野研)

相 澤 俊 (東大・理・井野研)

常 行 真 司 (東大・理・塚田研)

昨年度と比較して参加者が多く(約50名), にぎやかなサブゼミとなりました。ただ, 表面とは直接な関わりのない人たちも結構いたようです。サブゼミの内容がかなり専門的なものであっただけに消化不良のまま終わった人もいるかもしれません。しかし, 大多数を占める表面関係の研究者は非常に有意義な情報を得たものと確信しています。また, 驚いた事に企業の方々も10名ほど来ておられ, 表面に対する関心が大学の外でも高まっている事実を改めて認識しました。

サブゼミを進行する上で細かく時間割りを設けましたが, いざ始まってみるとなかなかうまくいきませんでした。講師の先生も発表者の方も講演に熱を入れるあまり, つい時間をオーバーしてしまったようです。高柳先生の講義は, 非常に基本的な実験手段から御自分の専門とするEMの研究報告まで多岐に渡るもので初心者にもわかりやすいように工夫されていました。発表者の方々も日頃の研究成果を力説され, 表面構造を解析する上での様々なアプローチとデータを我々に紹介して頂きました。

夜のサブゼミ・コンパにも自分の予想を上回る30人もの人に集まって頂いて, 各研究室間の親睦を深めるという目的は十分に達成されました。全般的に見て世話人としての責務はひと通り果たせたと思います。来年の「表面」サブゼミも盛況となる事を願いつつ, この報告書をしめくくります。

サブゼミ 低温「超流動」

講師 永井克彦氏(山口大・理)

発表者 石川修六氏(京大・理・D3)

「NMRによる超流動 ^3He の研究－B相－」

秋元彦太氏(阪市大・理・D2)

「液体 ^3He の超流動密度とサイズ効果」